

GW 特別企画

家族をつなぐ  
「おもちゃ屋さんの」  
小さな物語



トミカ・プラレールタウン



ウルトラマンSHOT M78



スーパーヒーローショップ



シルバニア森のマーケット



レゴコーナー



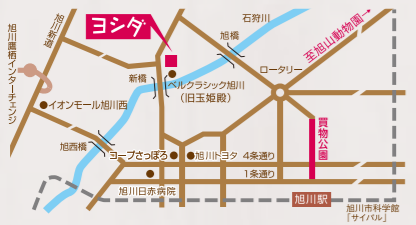
ドーリールーム

ヨシダグループ

子どもから大人まで楽しめるおもちゃの専門店!

おもちゃのヨシダ本店  
http://www.toys-yoshida.co.jp/

☎0166-51-1519  
北海道旭川市本町3丁目437-238  
＜営業時間＞ 午前10時～午後7時  
☒大型駐車場完備



「おもちゃのヨシダ」では、子どもたちにおもちゃの大切さを伝えながら定番のおもちゃの発展や最新のおもちゃ遊び提案に力を注いでおります。店内は、トミカ・プラレールタウンやリカちゃん、ウルトラマン、レゴ、シルバニアなどの専門ショップが多数あり、決して飽きることのない店舗づくりを行っております。

おじいちゃん、パパ、6歳のたいちくん。  
GWは親子三代で『おもちゃのヨシダ』へ!

札幌の子どもが憧れるお店が旭川に

「早くみんなで旭川に行こうよ!」  
陽射しが目映い、ゴールデンウィークの朝。札幌に住むたいちくん(6歳)はいつもよりずっと早起き。だってきょうは、大好きなおじいちゃんとおばあちゃんが暮らす旭川に家族みんなで行く日だから。おいしいものを食べたり、動物園で遊んだり、お買物を楽しんだり……そんな中でも、たいちくんが一番楽しみにしているのは『おもちゃのヨシダ』に行くこと! 旭川はたいちくんのパパが育ったまち。「たいち、パパが子どもの頃に行っていたおもちゃ屋さんに行ってみるか」。ゴールデンウィーク前に、そう言われてからたいちくんはおじいちゃん、パパと一緒にそのおもちゃ屋さんに行く日を本当に楽しみにしていたのです。

お目当てのお店は、JR旭川駅や買物公園がある市の中心部からクルマで約5分、市内だけではなく、北海道各地から多くのファミリーが訪れる『おもちゃのヨシダ』。1950年(昭和25年)の創業以来、時代とともに、子どもたちの夢と一緒に歩み続け、いまも「子どもから大人まで楽しめるおもちゃの専門店」として輝き続けています。  
「久しぶりだなー」パパが小さな頃におじいちゃんに連れてきてもらったという店舗は、当時と比べると「広くなったなあ」とパパの感想。店内はすみからすみまでわくわくいっぱい、まさに「おもちゃの楽園」です。

親から子どもへそのまた子どもへ

たいちくんが真っ先に向かったのは、ベイブレードコーナー。おじいちゃんにベイブレードの新品「B-76ベイブレード ゴッドエントリーセット」を買ってもらおう約束をしていたのです! ところ

ろが、コーナーの前にちょっと不思議なモノを発見して立ち止まりました。「おじいちゃん、これ何? 何となくベイブレードの形に似ているけど。これも回して遊ぶモノ?」おじいちゃんは笑いながら「ベェゴマだよ。昔はおじいちゃんもこれでよく遊んだな。ちょっと得意気にベェゴマの回し方をたいちくんに指導。「へー、ベイブレードみたいに回して対戦するんだね。おじいちゃんが遊んでいたおもちゃもルールは同じだね!」  
親から子どもへ、またその子どもへ——それは、「教育」にもつながるおもちゃの使命。時代が移り変わり、たくさん新しいおもちゃが生まれても、おもちゃが担う役割に変わりはありません。

家族みんなに愛される理由

『おもちゃのヨシダ』には、最新のおもちゃだけではなく、次世代の子どもたちにも伝えていきたいおもちゃの専門コーナーも充実。ピンクで統一されたスペースにズラリとリカちゃんグッズが並ぶ『ドーリールーム』。たいちくんのパパも夢中だったウルトラマンの世界が広がる『SHOT M78』。大きなジオラマの中を電車が走る『トミカ・プラレールタウン』。最新商品のサンプルが展示されている『レゴブロックコーナー』。『おもちゃのヨシダ』オリジナルの「ラベンダーウサギファミリー」を取り扱う『たいせつの丘物語 シルバニア森のマーケット』など、独創的なアイデアを盛り込んだコーナー展開がいっぱい!



ベイブレードを買ってもらい、ずっとニコニコのたいちくん。帰りがけに「おばあちゃんに買ってこようよ」と店内で懐かしい駄菓子を購入。孫のやさしさに、何度もうなずくおじいちゃんでした。  
『おもちゃのヨシダ』は、駐車場も完備している。ゴールデンウィーク中も気軽に駐車可能。札幌圏をはじめ、毎年多くのファミリーが旭川を訪れ、動物園やショッピングで楽しんだ後のドライブコースとしても人気です。